

# SDGs未来都市 市の考えは

竹村 仁司議員



計画は国の選定で効果的に実行できる  
企画政策部長

**問** SDGs未来都市に関する考えは。

**答** 国よりSDGs未来都市に選定されることになれば、掲げた計画を国費の活用や各省庁からの助言により効果的に実行できる。

**問** SDGs未来都市に必要な環境・社会・経済の3つの側面については。

**答** 環境面では、木曾川をはじめとする豊かな水辺空間と田園風景。社会

面では、協働によるまちづくり、持続可能なまちづくり、絆を大切にす

まちづくりの実現。経済面では、主要産業の農業振興、新規企業の誘致、既存産業の活性化、また道の駅を核としたまちに

**問** 第2次総合計画の前期の検証、また後期の策

定は、SDGsの目標をもとに行うべきでは。

識しつつ、総合計画の後期基本計画の策定を進めている。SDGs未来都市

の実現に向けては、企業やNPO、金融機関、大学や高等学校などの連携を進めていきたい。

**問** 清林館高等学校との官学連携事業であるSDGsのチラシを作るに至った経緯は。

**答** 「SDGsの達成に向けてできること」という地域課題に、ポスターとチラシを作成し、SDGsを市民一人ひとりに周知し、少しでも取り組んでいくことで始めた。

**問** 完成したポスターを貼り出すときには、清林館高等学校の生徒と市の職員、生徒と先生などと協働の観点も踏まえ、一緒に貼り出すということを実行しては。

**答** 地域とのつながり、パートナーシップを築けるよう、市の職員、清林館高等学校の生徒、先生と一緒に貼り出ししていきたい。



▲官学連携事業(清林館高等学校)

**問** ホームページ、官学連携事業のプロジェクトの内容で、若者の声が多く取り組みは。

**答** 現場の高校生の声は貴重だと考える。プロジェクトの中で上がった意見も含め、ホームページへ掲載し、内容を充実させていきたい。